



松山商業61期生 新年会(R2.1)



砥部中学校12期生 喜寿祝い(H31.3) 於 大宮八幡宮

砥部中学校12期生 喜寿祝い(H31.3)



十八番はコウモリ傘の修繕(H25.6)



ミツル会 オモシロイ事が好き(H22.6)

じよっさんのお楽しみ日記85

「私(No)脳)無し人生」の巻

今回のコロナ問題は私にとって人生の一区切りと考えて、自分の人生を振り返ってみました。

私は戦中(昭和十九年)生まれの砥部の田舎育ちです。子供の頃から毎日友達と遊んで育ちました。学校が終わると毎日のようにソフトボールをしたり川に泳ぎに行ったり、山へ水晶やカブト虫を捕りに行っていました。

又、農家の友達の家へ行ってはミカンや柿をもらい(親には内緒?) 当時は各地区で相撲大会がありチビでしたがよく参加しました。

同級生はいいもので今でも月に一回集まっています。

高校へ入学してからも砥部弁で面白いことを言うのですが多くの友達が出来ました。当時、松山から見れば砥部は相当田舎と思われるので私が「砥部もヨウヨウ電気が点いてのう」と言っていると、「ホウカ良かったのう」と真顔で答えられたり餃子を食った事も無く「サメコ」と呼んで笑らわれて、何でも知ってやろうと思つて友達とのお付き合い重ねていきました。卒業後も毎年、新年会が続いていますが、もちろんオール出席です。お陰さまで松商の同級生はほとんど覚えています。

社会人になつてからも野球やボーリング、飲み会にゴルフ等々、中村は呼んだら必ず来ると何時も声がかかるようになり、私も「道後検番のつよっさん! 声が掛かるうちが華ヨ」ハイ、ヨロコビとすぐに出て行きます。

私は今まで人生を2倍楽しんできました。これからも二度と無い人生を最後まで楽しみ切りたいと思います。



中村剛志